

## 2010年日中青少年スポーツ指導者交流派遣事業実施要項

### <主旨>

1986年に日中両国で確認した「日中青少年スポーツ交流事業計画」にもとづく、中華全国体育総会との指導者交流は1989年より開始され、本年度は日本スポーツ少年団指導者の派遣の年となっている。

今回の派遣にあたっては、中国の青少年育成の実情および青少年スポーツ振興策を研修するとともに、1996年より開始された「団員交流」の充実・発展を期するため、指導者を下記のとおり中国に派遣する。

### 記

1. 派遣期間 平成22年10月17日(日)～10月26日(火)
2. 派遣先 中華人民共和国(広東省・広西省)
3. 主催 財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団
4. 派遣人数 10名(各都道府県の推薦を受け日本スポーツ少年団にて選考された者、および日本スポーツ少年団が特別に選考した者)
5. 研修主題
  - (1) 地域を基盤としたスポーツの組織とその運営について
  - (2) 指導活動の方法とその組織について
  - (3) 青少年スポーツのプログラムについて
  - (4) その他
6. 研修方法  
中華全国体育総会中央機関および地域組織において講義を受け、研究協議を行う。  
また、スポーツ組織・施設を視察し、スポーツ活動の現状等を研修する。
7. 経費  
派遣参加負担金 1人10万円  
なお、次の経費は参加負担金に含まれず、個人負担となる。
  - (1) 渡航手続き(パスポート取得等)に要する経費
  - (2) スーツケースおよび渡航・研修に必要な服装代
  - (3) その他必要な経費(現地における個人的諸費用等)
8. 募集および選考  
別に定める募集要項により、各都道府県スポーツ少年団からの派遣推薦を8月16日(月)までに受け、書類選考を経て9月18日(土)～19日(日)の事前研修会(於:東京)終了後、派遣指導者を決定する。
9. 応募資格
  - (1) 日本スポーツ少年団有資格指導者で、今後も引き続きスポーツ少年団の育成に従事できる者。
  - (2) スポーツ少年団の指導育成に2年以上従事している者。
  - (3) 45歳程度までの者が望ましい。(平成22年4月1日現在)
  - (4) 英会話または中国語会話ができること。
  - (5) 国際交流において、日本の代表としてふさわしい人格と見識を有する者。